

平成26年度進行管理・評価シート（最終版）
萩市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）
（最終変更平成26年3月31日）

☑進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施体制の一元化 市民団体との協働	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 歴史的町並みと調和した良好な景観の形成	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 旧萩藩校明倫館活用推進事業	3
2 萩時代まつり	4
3 萩夏まつり	5
4 萩の和船大競漕「おしくらごう」	6
5 浜崎伝建おたから博物館	7
6 ワンコイントラスト(百円信託)運動	8
7 萩ものしり博士検定・子どもものしり博士検定	9
8 萩・万灯会	10
9 萩・大茶会	11
10 萩ものがたり出版事業	12
11 萩焼まつり	13
12 萩・幕末維新検定	14
13 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業	15
14 語り部育成事業	16
15 地域コミュニティ組織づくり事業	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・修理等に関する事項	18～19
2 文化財の普及・啓発等に関する事項	20
3 文化財施設等の活用に関する事項	21～22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 日本近代化の価値発信ほか	23～24
⑥その他(様式1-6)		
1 萩・明治維新150年記念事業	25
2 「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」 山口県世界遺産シンポジウムin萩	26

☑法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	27
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
計画の実施体制の一元化 市民団体との協働	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 計画に定める事業等の実施及び計画変更については、市政全般の調整を行う総合政策部との連携のもと、歴史まちづくり部が中心となっており、「NPO萩まちじゅう博物館」、「浜崎しっちょる会」、「NPO萩観光ガイド協会」などの民間団体等との協働により計画を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度に、総合政策部のまちじゅう博物館推進課及び世界遺産登録推進課を歴史まちづくり部に移管し、萩の歴史的風致を活かしたまちづくりを総合的に進める体制を再構築した。民間団体の取り組みについては、萩市のまちづくりの基軸である「萩まちじゅう博物館」を推進する中核的団体であり、萩市歴史的風致維持向上支援法人である「NPO萩まちじゅう博物館」や重要伝統的建造物群保存地区の保存活用に取り組む「浜崎しっちょる会」、「萩往還佐々並どうしんてやろう会」、市内の文化財施設の管理やガイドを行っている「NPO萩観光ガイド協会」などが、それぞれの資源を活かしたまちづくりに取り組んでおり、これらの団体との協働により計画を推進している。

NPO萩まちじゅう博物館会員数 201人、NPO萩観光ガイド協会会員数 94人
 浜崎しっちょる会会員数 90人、萩往還佐々並どうしんてやろう会会員数106人

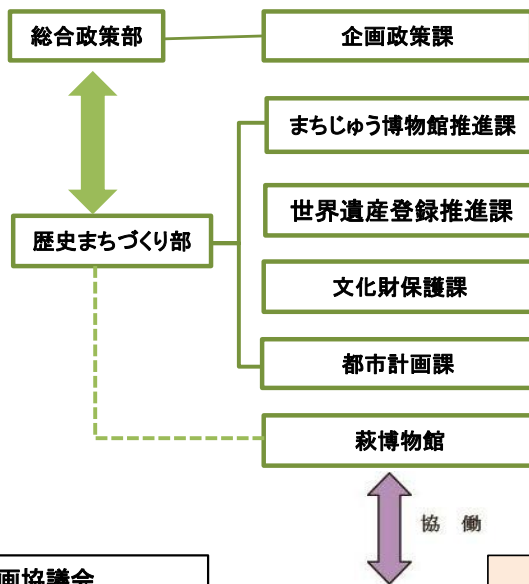
(平成27年2月現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画変更、進行管理及び評価については、まちじゅう博物館推進課、事業実施については各事業担当課が行っているが、適正な計画の推進と事業実施を図るため、定期的な庁内担当者会議等の開催を検討する。

状況を示す写真や資料等

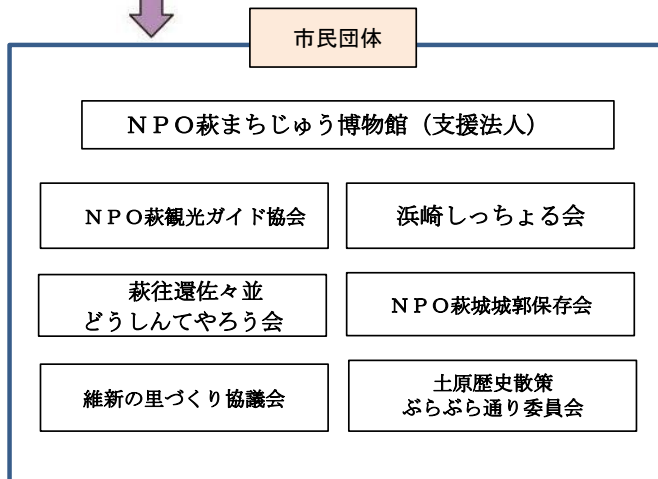
歴史まちづくり推進体制の確立

○平成26年度の推進体制



萩市歴史的風致維持向上計画協議会

- 開催日 平成27年3月23日
- 議題
 - ・進行管理・評価について
 - ・歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
歴史的町並みと調和した良好な景観の形成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 地区や地域を定めて指定している文化財の周辺部は未指定地域であることから、指定している地区や地域とは極端な景観の差が現れることになる。これを解消するために新築等に際しては、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市の都市計画用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定により規制誘導を行い良好な景観を確保するとともに、地区や地域の指定拡大や追加に努める。歴史的価値が特に高い建造物の周辺には緩衝地帯を設け、周辺環境の保全に努める。

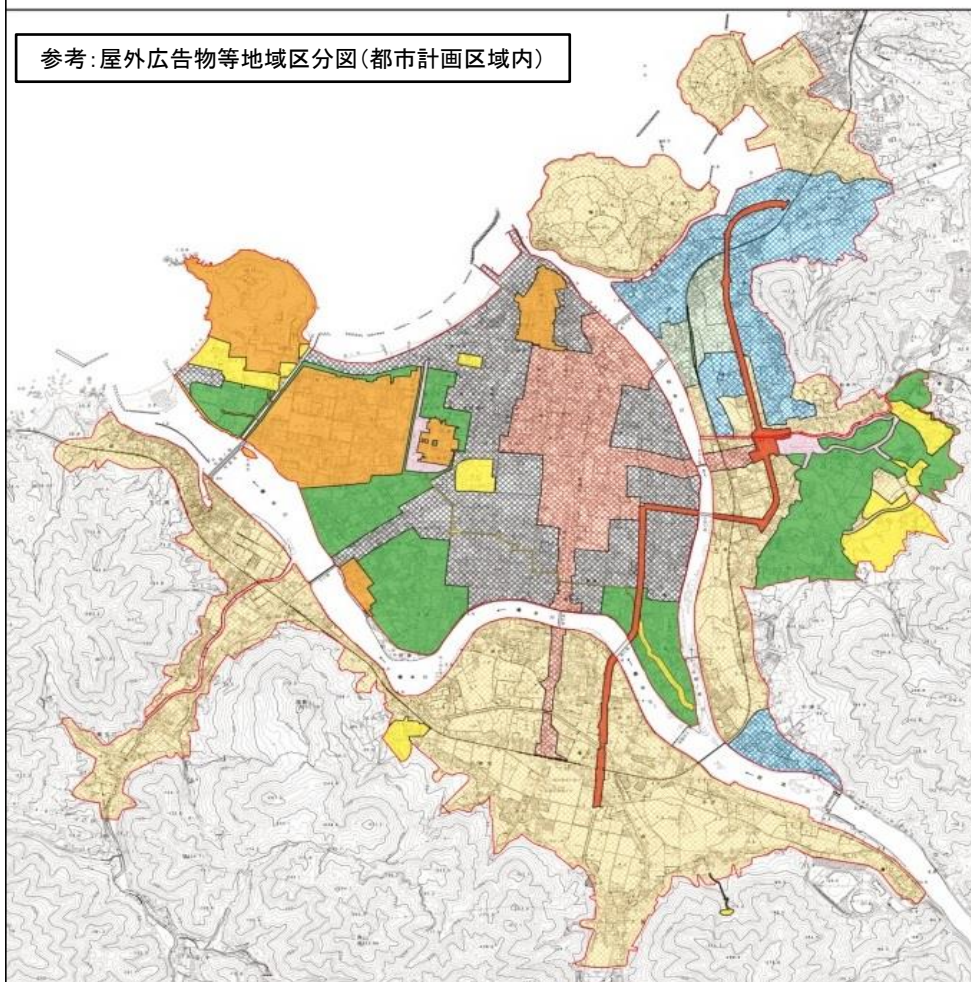
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域は、歴史的風致を色濃く残す萩市の中心市街地と重なる。現在、都市計画法に基づき、地域の歴史的特性に合った土地利用が図られるよう適切な用途地域の指定を行っている。また、景観法に基づき平成19年12月に策定された萩市景観計画では、重点的に景観の形成及び保全を図る地域である重点景観計画区域の多くを重点区域内において指定し、地域の特性に応じて詳細な景観形成基準を定め、建築物の高さを主に16m以内又は10m以内に制限するほか、良好な景観形成のための指導等を行っている。さらに、萩市屋外広告物等に関する条例では、重点景観計画区域については自家用広告物以外の広告物の掲出を原則禁止する禁止地域に指定するなど強い制限をかけ、屋外広告物掲出の誘導を行っている。このような施策を住民の理解を得ながら行っており、平成24年4月には萩市景観計画を改訂し、更なる歴史的風致の維持及び向上に努めている。
 ○平成26年度 萩市景観区域内行為届受理件数 45件(平成27年2月10日現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観計画や屋外広告物等に関する条例による規制の理解を得ることに苦慮することがあるが、萩市の景観に対する取り組みを十分に説明し理解していただいた上で基準に適合させた、建築物・工作物等の新築等を行っていただくこととしている。

状況を示す写真や資料等

参考:屋外広告物等地域区分図(都市計画区域内)



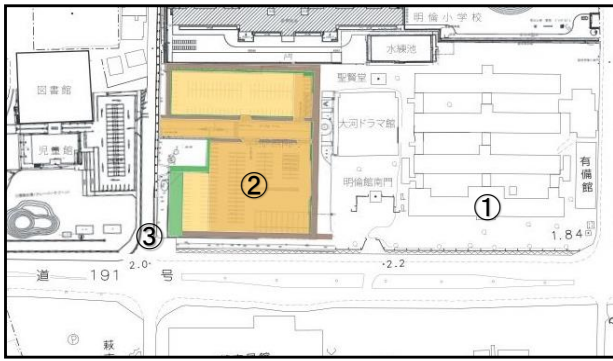
禁止地域		許可地域			
	第1種禁止地域		第1種許可地域		第6種許可地域
	第2種禁止地域		第2種許可地域		第7種許可地域
	第3種禁止地域		第3種許可地域	※第7種許可地域は都市計画区域外地区	
	第4種禁止地域		第4種許可地域		
	第5種禁止地域		第5種許可地域		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
旧萩藩校明倫館活用推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、集約促進景観・歴史的風致形成事業		
計画に記載している内容	旧萩藩校明倫館は、市街地の中心部に位置し、公共施設や公園、商店街に隣接する利便性の高い場所であることから、今後は「歴史・文化・教育ゾーン」として位置づけ、観光の拠点、教育伝承の場、生涯学習・市民活動の場、資料展示の場として活用することで、歴史的風致の維持及び向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①【建物調査(老朽度)・耐震補強計画の策定】4棟の建物調査及び本館(2,071㎡)・2棟目(1,703㎡)の耐震補強計画の策定(完了) ②【駐車場整備】旧萩藩校明倫館の公開活用に向け、利用者のための駐車場を整備。まさ土部分を多く残すとともに、緑地帯の整備や脱色アスファルトでの舗装により、周囲の景観と調和した駐車場として整備。(完了) A=約1.0ha 「駐車舞台数」普通車 178台 大型バス 10台 おもいやり駐車場 4台 タクシープール 8台 「脱色アスファルト舗装」5,930㎡ 「緑地帯整備」低木450本 「駐車場照明整備」11基 ③【進入路整備】駐車場への進入路として既存の市道(市道八丁瓦町線)を拡幅(完了) L=105m 幅員10m(車道7.5m 歩道2.5m) (改修前 5.0m)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		公開活用に向けた維持管理、運営体制等の詳細を調整する必要がある。また、大規模事業となるため、財源の確保が課題となっている。	

<



① 校舎棟調査状況



壁・床・天井の一部を剥がし、内部の構造及び老朽度を調査



② 駐車場整備



完成状況

③ 進入路整備



整備前



整備後

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況
萩時代まつり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成7年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 時代まつりは、藩政時代を起源とする天神祭を核に行われる。毛利の伝統を受け継ぐ2つの奉納行列のほか、町内会による唐樋御神幣、川島聖講などが、萩市内を練り歩き、金谷神社に奉納される。舞台となる萩の町並みがまつりを盛り上げることで、萩市の歴史的風致の維持向上につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成26年11月9日(日)8時～16時
 入込数 47,000人(萩時代まつり、萩ふるさとまつり全体)

今年度は、雨天であったが、大名行列は例年通り金谷神社への奉納を行った。また、平成27年大河ドラマに出演する俳優も、まつりに参加し、多くの見物客で賑わった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「草履舞」奉納の様子



平安古備組「手廻り備え行列」



古萩大名行列



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
秋夏まつり	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和38年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容
 藩政時代から続く、萩市浜崎伝統的建造物群保存地区に位置する住吉神社の祭りに併せて行う。祭りの核となるのが、萩藩の御座船唄であり、山口県無形民俗文化財に指定されている「お船謡」の奉納や「住吉神輿」の奉納である。藩政時代から今に継承される伝統行事を次世代に受け継ぐことにより、萩市の歴史的風致の維持向上に繋がる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日 平成26年8月1日(金)～3日(日) ※2日(土)は悪天候により中止。

開催場所 萩市内各所

入込数 68,000人

◆秋夏まつり主なスケジュール

○8月1日(金)20時～21時 「日本海大花火大会」

○8月3日(日)18時～21時 「秋夏まつり」

お船謡は8月3日、住吉神輿は8月2日・3日の終日行われている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している

計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「お船謡」の様子



「住吉神輿」の様子



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
萩の和船大競漕「おしくらごう」		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	藩政時代より受け継がれる「おしくらごう」と呼ばれる和船競漕は、玉江浦地区巖島神社の例祭に合わせて行われる。伝統文化を継承していくことにより、歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成26年6月1日(日)12時30分～		
開催場所	萩市橋本川下流		
入込数	15,000人		
「おしくらごう」は、以前は、海上で行われていたが、近年は橋本川下流に場所をかえ、多くの市民や観光客が観覧できるようになった。ねじりはちまき・下帯姿の若者たちが和船に乗り込み、掛け声をあわせて櫂を漕ぎ、銀色の波しぶきをあげ、往時を偲ばせる白熱したレースを繰り広げた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「おしくらごう」の様子



【イベントチラシ】

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
浜崎伝建おたから博物館	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成10年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容
江戸時代並びに明治、大正及び昭和初期の伝統的建造物が約130棟残る萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区を舞台に、家々に伝わる「おたから」を歴史的な建物内で展示・公開するとともに、萩の特産品販売なども行う。本事業を通じて歴史景観に対する意識の高揚を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成26年5月18日(日)9時～15時
開催場所 萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区
入込数 7,000人

浜崎地区のまちづくり団体「浜崎しつちよる会」が中心となって行っている。浜崎のまちなみ、各戸に伝わる「おたから」とともに、萩の特産品販売もあり、毎年、多くの来場者で賑わっている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「浜崎伝建おたから博物館」の様子



【イベントチラシ】

第十七回 歩いて巡る萩の宝島
浜崎伝建おたから博物館
 と吉 二十六年五月十八日(日)
 午前九時～午後三時

初公開です 5月18日
 初登場市場食堂
 萩市浜崎本町周辺 御道具展示
 萩市文化財保護課 0838-25-3238
 萩市文化財保護課 0838-22-0133

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況
ワンコイントラスト(百円信託)運動		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩に残る未指定の文化遺産を保存、活用、継承するため、市内の文化財施設などにトラストボックス(寄付金箱)を設置し、ワンコイン(100円)のトラスト(信託)を求める。財政支援を得にくい未指定の文化遺産の保存を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

トラストボックス設置箇所 8箇所
 ①道の駅「萩一まと」 ②萩博物館 ③道の駅萩往還内「松陰記念館」 ④旧山村家住宅 ⑤渡辺蒿蔵旧宅
 ⑥有備館 ⑦「花燃ゆ」大河ドラマ館 ⑧玉木文之進旧宅
 トラスト金額 累計 28,616,845円 (平成27年2月28日現在)

平成26年度からは、11月から公開を開始した有備館、1月に開館した「花燃ゆ」大河ドラマ館、大河ドラマの影響で来館者の増加が見込まれる、玉木文之進旧宅にトラストボックスを追加で設置し、設置箇所は8箇所になった。また、本年度は第9号物件として「久坂玄瑞進撃像」を建立し、平成27年1月24日(土)に、除幕式が挙行された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

今までに修復などを行った萩の宝物

いのうえまさる
第1号 井上勝旧宅門
 修復後

 名 称：井上勝(鉄道の父)旧宅門
 物件の公開：萩市土庫 268-1
 修復年月：平成 18年 4月

さるたひごめんだし
第2号 猿田彦面山車
 修復後

 名 称：猿田彦面山車
 物件の公開：住吉神社のお祭り
 で一般公開
 修復年月：平成 18年 10月

ひやこそなえくみ
第3号 平安古備組道具類
 修復後

 名 称：平安古備組道具類
 ※文字織や帯目付織など 10 点
 物件の公開：萩時代まつりや萩博物館で
 一般公開
 修復年月：平成 19年 7月

おあじろぐるま
第4号 御網代車
 修復後

 名 称：御網代車
 物件の公開：毎年 11 月に行われる金谷天満宮祭礼の御神幸
 神事で一般公開
 修復年月：平成 20年 10月

ちようしゅうほう
第5号 長州砲
 英国より里拂り
 を実現

 名 称：長州砲(萩野流一貫目青銅砲)
 物件の公開：萩博物館で期間限定公開
 重 量：リ：平成 20年 8月から平成 21年 5月末日まで

いとうひろぶみ
第6号 伊藤博文公先祖の墓碑
 修復後

 名 称：伊藤博文公先祖の墓碑
 物件の公開：報恩寺境内にて常時公開
 修復年月：平成 21年 9月

たがすざしんざくりっしぞう
第7号 高杉晋作立志像
 銅像建立

 名 称：高杉晋作立志像
 物件の公開：史跡萩城下町
 にて常時公開
 建立年月：平成 22年 10月

きへいたいたいふく
第8号 奇兵隊隊服
 奇兵隊隊服を再現

 名 称：奇兵隊隊服
 物件の公開：萩時代まつりや
 萩博物館で一般公開
 完成披露：平成 25年 6月

くさかげん せいしんげきぞう
第9号 久坂玄瑞進撃像
 銅像建立

 名 称：久坂玄瑞進撃像
 物件の公開：萩市中央公園
 にて常時公開
 建立年月：平成 27年 1月

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
萩ものしり博士検定・子どもものしり博士検定	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩ものしり博士検定では、萩の歴史、文化、自然にまつわるストーリーをクイズ形式で学ぶことのできるテキストを題材に試験を実施している。市民や観光客の参加により、萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成26年11月23日(日) 10時30分～

・萩ものしり博士(修士課程)45分間/テキストより100問出題 全問択一式 80問以上正解で合格

・萩ものしり博士(博士課程)90分間/テキストより100問出題 記述式・択一式 80問以上正解で合格

開催場所 萩セミナーハウス

平成21年度にテキストを改訂し、民俗、自然の情報を増やした。平成20年度から開催している「子どもものしり博士検定」については、平成24年度から市内の小学生は、各学校で受検する方式に変更し、平成26年度は計440名が受検した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■萩ものしり博士検定 受検者・合格者数

修士課程				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H17	250人	234人	213人	91.0%
H18	115人	105人	94人	89.5%
H19	88人	74人	71人	95.9%
H20	81人	70人	56人	80.0%
H21	81人	76人	72人	94.7%
H22	70人	66人	61人	92.4%
H23	94人	89人	85人	95.5%
H24	97人	89人	83人	93.3%
H25	46人	44人	42人	95.5%
H26	55人	49人	46人	93.9%
合計	977人	896人	823人	91.9%

検定日当日の様子



博士課程				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H18	136人	129人	23人	17.8%
H19	89人	81人	32人	39.5%
H20	59人	53人	20人	37.7%
H21	57人	52人	11人	21.2%
H22	39人	36人	11人	30.6%
H23	37人	34人	8人	23.5%
H24	41人	39人	10人	25.6%
H25	38人	33人	10人	30.3%
H26	18人	17人	2人	11.8%
合計	514人	474人	127人	26.8%

検定テキスト改定版「萩ものしり博士」



※複数合格者3人 実数123人

子どもものしり博士 (市内各小学校で受検)	
～H23	124人
H24	791人
H25	475人
H26	440人
合格者	1,830人

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
萩・万灯会	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和42年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩・万灯会は、萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺(いずれも重要文化財)で開催される。萩藩主とその一族を弔うための伝統行事であり、本事業の開催によって萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◆大照院<迎え火>
開催日時 平成26年8月13日(水) 19時30分～22時(20時～墓前供養)
 - ◆東照寺<送り火>
開催日時 平成26年8月15日(金) 19時30分～22時
- 合計入込数 7,200人

毛利氏の菩提を弔うため、石燈籠(大照院、約600基、東光寺、約500基)に入れられたろうそくの火が、幻想的な世界を作り出した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

「大照院」万灯会の様子



「東光寺」万灯会の様子



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
萩・大茶会		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成9年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩焼とともに歴史ある萩の茶の湯文化を紹介するイベント。史跡萩城跡を中心として開催する。萩市の歴史的風致を活用し、萩市の歴史と文化を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成26年5月3日(土・祝)・4日(日・祝) 10時～15時		
入込数	14,700人		
市内4箇所て茶席を開催			
①小堀遠州流萩支部【熊谷家住宅】			
②裏千家淡交会萩支部【久保田家住宅】			
③表千家千萩会【萩城跡指月公園内 花江茶亭】			
④遠州流萩支部【旧厚狭毛利家萩屋敷長屋】			
平成25度からは、旧久保田家住宅と熊谷家住宅を新たな会場とし、城下町散策の周遊を促進している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【イベントチラシ】

「萩・大茶会」の様子



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
萩ものがたり出版事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩にまつわる歴史、自然、民俗、芸術などの萩の物語(ストーリー)を、読み易いブックレット形式のシリーズとして出版、定期的に刊行する(年間4冊程度発行)。貴重な萩の情報を書籍出版することにより、萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年4月1日発行 ・萩ものがたり41号「茶陶萩」(山口県立萩美術館・浦上記念館学芸専門監 石崎泰之 著) ・萩ものがたり42号「高杉晋作と諫早生二」(萩博物館特別学芸員 一坂太郎 著) 平成26年11月1日発行 ・萩ものがたり43号「楫取素彦」(萩博物館主任学芸員 道迫真吾 著) 平成26年12月20日発行 ・萩ものがたり44号「久坂玄瑞」(萩博物館特別学芸員 一坂太郎 著) 平成16年度からの累計発行数 44巻			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
平成26年4月1日発行			
		平成26年4月1日発行 ・萩ものがたり41号「茶陶萩」 (山口県立萩美術館・浦上記念館学芸専門監 石崎泰之 著) ・萩ものがたり42号「高杉晋作と諫早生二」 (萩博物館特別学芸員 一坂太郎 著)	
平成26年11月・12月発行			
		平成26年11月1日発行 ・萩ものがたり43号「楫取素彦」 (萩博物館主任学芸員 道迫真吾 著) 平成26年12月20日発行 ・萩ものがたり44号「久坂玄瑞」 (萩博物館特別学芸員 一坂太郎 著)	

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
萩焼まつり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成3年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	本事業は、日本を代表する工芸品である萩焼を広く紹介するため、市内の窯元や販売店が一堂に集結して行う即売会である。萩焼作家の直接指導によるろくろ体験や特産品の販売も行う。本事業の開催で、萩焼が広く知られることになり、萩市の歴史的風致の情報発信を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成26年5月1日(木)～5日(祝・月) 9時～17時30分		
開催場所	萩市民体育館		
入込数	34,200人		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・萩焼窯元等出店事業者 46社 ・ろくろ体験 ・萩焼を使ったテーブルコーディネート展 ・萩焼抽選会 ・抹茶席 ・特産品の販売 		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「萩焼まつり」会場内の様子



「萩焼まつり」会場内の様子



萩焼を使ったテーブルコーディネート展の様子



特産品販売の様子



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況
萩・幕末維新検定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩・幕末維新検定は、平成30年の明治維新150年に向けた事業展開の一つとして、幕末・明治維新に特化し、萩ゆかりの人物や歴史などをクイズ形式により学びながら、近代日本の礎を築いた人物の関連遺産が数多く残る萩の魅力を再発見するとともに、明治維新胎動の地、萩の歴史的風致を広く情報発信することを目的に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成27年2月8日(日) 10時30分から
 開催場所 萩市民館、JAあぶらんど萩本所(旧萩藩校明倫館横)

内容
 ・検定時間90分間/公式テキストから100問出題/択一式及び記述式 80問以上の正解で合格
 ・受検者特典/松下村塾コース/萩博物館コース/有備館コース
 平成25年11月に公式問題集を発行。平成30年の明治維新150年に向けて毎年開催。第2回目となる平成26年度からは、新たに「上級・師範コース」を設け、従来の検定を「中級・門下生コース」として実施した。また、受検者特典に新たに有備館コースを加え、3つの受検者特典コースに167名が参加した。県外からの受検者は北海道から宮崎県まで52名の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 県内外からの受検者確保のため、受検者特典の充実と情報発信の強化を進める

状況を示す写真や資料等

検定会場の様子(上級・師範コース)



受検者特典の様子(有備館コース)



○受検者数

年度	級別	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
25	—	410	353	204	57.7
26	中級	189	180	88	48.8
	上級	104	100	49	49.0

○受検者内訳

年度	県内受検者	県外受検者	萩市内受検者	計
25	156	41	156	353
26	139	52	89	280



受検チラシ

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩のまちのおたから(文化遺産)を守り育てながら、誇りをもって次世代に伝えていこうというまちづくりの取組みである「萩まちじゅう博物館」を一層推進するため、まちじゅうに広がるおたから(文化遺産)の調査・認定・公開を行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業に市民と協働で取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時:平成26年5月1日(木)から平成27年3月31日(火)
事業実施箇所:堀内・平安古・城下町地区、土原地区、福栄地域、川上地域及び三見地区
事業主体:萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

事業内容
 ・おたから(文化遺産)の調査・記録作成事業
 NPO萩まちじゅう博物館と地域の住民が協働で、おたから(文化遺産)を調査・記録する。
 ・おたから(文化遺産)認定事業
 文化財審議会委員、萩博物館学芸員等からなる「文化遺産認定委員会」を組織し、おたから(文化遺産)の認定審査を行う。
 ・おたから(文化遺産)データベースの作成
 認定されたおたから(文化遺産)をデータベース化し、ホームページで公開するとともに報告会を開催する。
 ・おたから(文化遺産)普及啓発・育成事業
 事業実施地域ごとに交流イベントを開催するとともに「おたからマップ」を作成し、市内外へ情報発信する。

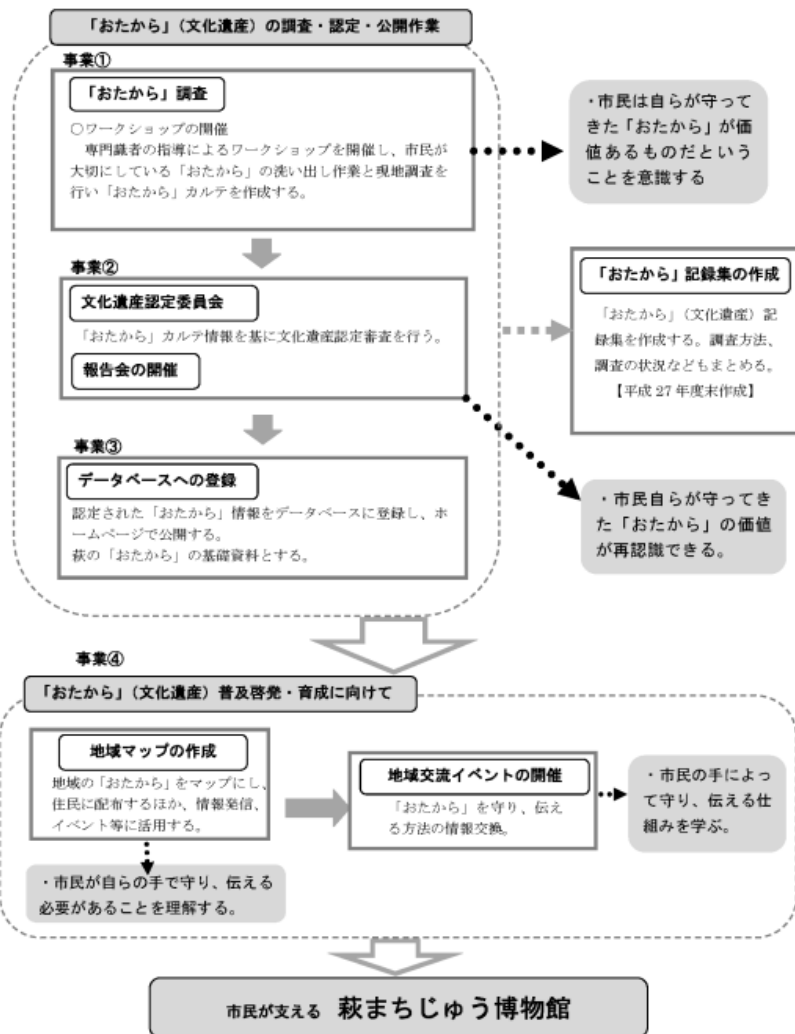
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 地域のおたから(文化遺産)をその地域に住む住人に再認識してもらい、活用していただくことの必要性を理解してもらう努力が必要。

状況を示す写真や資料等

○萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業フロー

○おたから(文化遺産)の調査・記録・交流イベントの様子



○萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業
実行委員会 平成26年4月23日(水)



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
語り部育成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 文化財施設などで観光客等に、萩市の豊かな歴史、文化、自然等につわる物語(ストーリー)を語る「語り部」により、萩市の歴史的風致を活用するとともに、歴史や文化を広く全国発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成30年の明治維新150年へ向けた関連事業として「萩・明治維新を学ぶ 萩の語り部歴史講座」を開催し、観光客等に萩物語を語り広める活動を行った。

【萩の語り部歴史講座①】

開催日時 平成26年3月22日(土)～5月18日(日)の間の土曜日に開催

開催場所 旧厚狭毛利家萩屋敷長屋

【萩の語り部歴史講座②】

開催日時 平成26年10月11日(土)～11月30日(日)の間の土曜日に開催

開催場所 旧萩藩校明倫館内 有備館

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○萩の語り部歴史講座(旧厚狭毛利家萩屋敷長屋)



○萩の語り部歴史講座(有備館)



○萩の語り部歴史講座①

演題：「萩城の築城について」「人間 桂小五郎の情と理」「吉田松陰とその家族」「下田踏海について」「鉄道の父 井上勝」「長州ファイブのその後」「正木退蔵について」「清風から吉田松陰」ほか

実施回数：36回

聴講者数：341人

○萩の語り部歴史講座②

演題：「花燃ゆヒロイン文と夫玄瑞の愛の書簡」「寺島忠三郎と久坂玄瑞」「世界最初の松陰の伝記について」「高杉晋作の死生観」「維新の先駆者 吉田松陰」「世界遺産候補 大板山たたら製鉄遺跡」ほか

実施回数：12回

聴講者数：164人

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
地域コミュニティ組織づくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	過疎高齢化の進展に伴い、広域的に自治機能を補完し合い、コミュニティの維持及び振興を図る仕組みづくりとして、学校区等を単位とした地域コミュニティ組織づくりを推進し、地域コミュニティの強化を図る。このことにより、各地域に古くから伝わる伝統芸能や伝統行事の継承、自然景観や歴史的景観の保全等が期待でき、もって歴史的風致の維持及び向上を図ることができる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
過疎化や少子高齢化により、地域の祭礼や草刈等の集落活動が徐々に困難となっている中で、地域の特色を活かした地域づくりを推進するために、「魅力ある地域づくり交付金制度」を創設し、集落や既存の団体の垣根を越えて地域全体で補い合うことができる新たな地域コミュニティづくりを推進している。平成26年度は前年度に発生した豪雨災害により被災した3地域の交付金を増額して支援した。			
平成26年度交付実績 ・交付地域 6地域(川上、むつみ、旭、福栄、須佐、田万川地域) ・交付金額 34,077千円			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○魅力ある地域づくり交付金の活用例



【田万川地域】

田万川女性団体連絡協議会結成25周年記念大会
 講演会 みんなで育てよう防災文化
 講師 NPO法人ほうべん子供冒険・防災学校
 代表 防災アドバイザー 西村 亘



【むつみ地域】

スイセンの花プロジェクト
 復興事業の一環として、むつみ地域県道萩・津和野線沿いのひまわりロード周辺約600㎡に、スイセンの球根5,000球を植栽



【須佐地域】

「龍が通った道」を学ぶ会
 「阿武火山群」についての学習会と弥富地区の資源である「壘ヶ淵」の活用についての学習会(全5回)
 講師: 永尾隆志(萩ジオパーク構想アドバイザー)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	作成しました。	評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
①文化財の修理(整備を含む) ②文化財の保存 ③文化財の周辺環境の保全 ④埋蔵文化財の調査			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の修理については、それを構成する部材細部に特に注意し、破損が進んで部材を大きく取り替えることがないように所有者が日常的な手入れを怠らないよう定期的な清掃・点検や関係機関への連絡等の管理体制を確立する。保存管理計画を策定している文化財については、基本方針等に従って適正な保存管理を行っており、今後も計画に基づき保存管理を進めていく。保存管理計画を定めていない指定文化財については、文化財保護法等に基づき、現状変更及び保存に影響を及ぼす行為に対して、個別案件ごとに本質的価値を保全するために許可制による行為の規制を行っている。文化財周辺の環境を保全については、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市都市計画の用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定や歴史的景観保存地区等の緩衝地帯を設け、周辺環境の保存に努める。埋蔵文化財の包蔵地に関しては常に現況を把握するとともに、開発等に当たっては事前に協議を行うよう指導し、できる限り包蔵地を回避するなどの措置を講じ保護に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理・保存については、文化財保護指導員と協力し、定期的に各地域の文化財の巡視のもと維持補修等を適切に実施し、かつ長期的な計画に基づき各年度ごとに保存修理事業や発掘調査を計画通り実施している。また、その他の文化財についても、随時、修復に努めるとともに、未指定文化財の調査などを進めている。

【平成26年度主要事業】

- ・重要文化財大照院本堂及び経蔵保存修理工事(継続)
 本堂は柱や梁などの軸部の組立を実施、経蔵は屋根の棧瓦葺等を実施(期間:平成22年度～平成29年度)
- ・史跡萩城城下町青木周彌旧宅保存修理工事(継続)
 主屋は、軸部の補修、組立から棧瓦葺までを、仲間部屋は、屋根の棧瓦葺、真壁の漆喰塗、造作の組立を、土蔵は大壁の漆喰塗を実施(期間:平成24年度～平成27年度)
- ・史跡萩城跡本丸門跡石垣調査及び保存修理工事
 本丸門跡北矢倉台からその東方に連続する土塀跡の上面遺構を発掘調査し、その後、顕著に変位した部分の石垣解体を実施(期間:平成25～平成26年度)
- ・伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理・修景 4件
 民間が所有する町屋の主屋・土蔵の保存修理及び門・倉庫の修景、並びに市所有の土蔵の保存修理を実施
- ・文化財の周辺環境の保全
 楯取素彦旧宅地(文化財未指定)の公開整備、香雪園(文化財未指定)内中継放送所(電波塔等)の移設
- ・埋蔵文化財の調査については、史跡地及び周知の埋蔵文化財包蔵地の調査を随時、実施し、埋蔵文化財の適切な記録及び保存を図っている。
 萩城城下町遺跡 青木周彌旧宅保存修理に伴う基礎遺構確認調査、市内遺跡詳細分布調査 2件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

未指定文化財等の総合的な把握及び文化財指定、整備を計画的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



国指定史跡の保存修理
(国指定史跡萩城城下町 青木周彌旧宅)



重要文化財の保存修理
(国指定重要文化財大照院)



伝統的建造物群と調和した倉庫の修景
(浜崎建地区)



国指定史跡の環境整備
(国指定史跡大板山たたら製鉄遺跡)



埋蔵文化財の発掘調査
(国指定史跡萩城城下町 青木周彌旧宅)



国指定史跡の保存修理
(史跡萩城跡 本丸門跡)



文化財建造物の維持修理
(国指定史跡菟城城下町 林市太郎旧宅)



未指定文化財の環境整備
(楯取素彦旧宅地整備)



指定文化財の保存修理
(市指定文化財 花江茶亭)



未指定文化財の維持修理
(江向駐車場の土塀)



市指定史跡の環境整備
(市指定史跡 野山獄・岩倉獄跡)



文化財の周辺環境の保全
(香雪園内中継放送所の移設)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	平成26年度
①文化財の普及・啓発 ②文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 萩市は、文化財を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝えることを宣言した萩まちじゅう博物館条例を平成16年に制定した。「文化財保護強調週間」には、文化財に親しんでもらうことを目的とした文化財の公開や史跡めぐりなどの行事を実施しており、「文化財防火デー」には、消防署、文化財所有者等の協力を得て防火訓練などの文化財防火運動を展開している。また、このような行事のほかに保存修理工事の際は、できる限り現場見学会や住民参加型のイベントを実施し、さらには広報紙等を活用して文化財情報を市民に発信するなど文化財の保存及び活用の普及・啓発を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の普及・啓発については、住民参加による文化財の保存修理現場の見学会を行い、文化財情報の発信に努めるとともに、関係機関の参加による文化財の防火訓練を実施し、防火意識の高揚を図った。さらに、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界遺産への登録に向けて官民が一体となった取組を進めるとともに、萩まちじゅう博物館推進のための文化遺産活用事業を継続した。

【平成26年度主要事業】

- ・文化財防火訓練
国指定重要文化財 旧厚狭毛利家萩屋敷長屋にて、文化財防火デーに合わせ、住民や消防団の参加を得て、文化財防火訓練を実施した。
- ・文化財の修理見学会
国指定史跡萩城下町 青木周弼旧宅の保存修理現場の一般見学会を実施した。
- ・文化財の維持管理
堀内町内会により国選定堀内伝統的建造物群保存地区内の清掃を年間を通じて定期的に行っている。
- ・文化財保存団体の研修
伝統的建造物群保存地区内の保存団体等の代表者3名が全国伝統的建造物群保存地区協議会住民研修会(福井県若狭町)に参加した。
- ・文化財の利活用に向けた協議
佐々並市伝統的建造物群保存地区内の旧小林家住宅の次年度からの整備とその後の活用・管理について話し合う旧小林家住宅整備活用協議会を2回開催した。
- ・文化財の普及啓発
萩の産業遺産群の平成27年度の世界文化遺産への登録に向けて、官民が一体となって普及啓発に取り組むための市民会議を開催した。
- ・文化遺産(おたから)の調査、認定、公開
萩まちじゅう博物館に点在するおたから(文化遺産)を調査し、後世に継承すべきおたからとして認定するとともに、これらをデータベース化して公開する事業に市民とともに取り組んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



文化財防火訓練
 【旧萩藩厚狭毛利家屋敷長屋(国指定重要文化財)】 H27.1.24



保存地区住民による清掃
 【堀内伝統的建造物群保存地区】



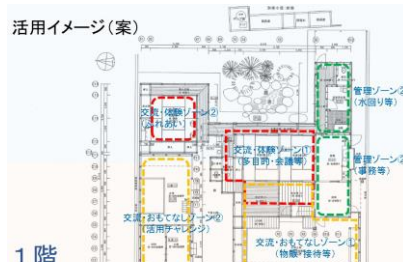
文化財の修理見学会
 【青木周弼旧宅(国指定史跡)】 H26.11.1



萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業
 【堀内(国選定重要伝統的建造物群保存地区)、土原、川上、福栄、三見の5地域】 H26.5.1~H27.3.31
 萩のまちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定・公開を行う事業



萩の近代化産業遺産2014 絵画展・写真展 H26.10.11~10.27
 萩の産業遺産群の世界文化遺産への登録について市民に啓発するために実施した。(展示:萩博物館)



旧小林家住宅整備活用協議会
 【佐々並市伝統的建造物群保存地区】 H26.11.14、H27.2.16
 旧小林家住宅の整備内容と完成後の活用・管理について協議した。

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	平成26年度

項目	現在の状況
①文化財施設等の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 市内全域には国指定等文化財、県指定文化財及び市指定文化財として名勝及び天然記念物を除く総数が182件にのぼり、そのほとんどは歴史観光を基軸とする萩観光の資源であることから、標識や解説板などを整備し、市民をはじめ観光客に一般公開している。特に、内部を公開している文化財については、関連する史料の展示や年中無休のボランティアガイドによる案内、解説を行うとともに、四季を通して催し物を開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

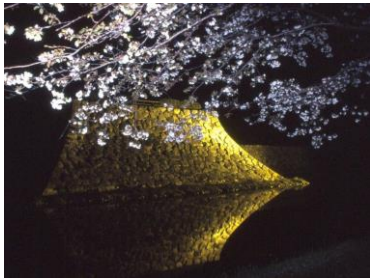
文化財の活用については、NPO萩観光ガイド協会等と連携し、史跡や文化財建造物・歴史的風致形成建造物の一般公開を進めるとともに、各催事等の舞台として積極的な利活用を図った。また、伝統行事や萩焼などの伝統的工芸品についても、活動支援や普及啓発に繋がる事業を行った。

主な事業等
 【平成26年度】
 萩城跡ライトアップ、萩焼まつり、萩・大茶会、須佐湾遊覧船、萩往還まつり「技・明木展」、萩・夏みかんまつり、萩・オープンガーデン、浜崎伝建おたから博物館、おしくらごう、萩夏まつり、萩・万灯会、着物ウィークin萩、萩竹灯路物語、秋の萩焼まつり、萩時代まつり、萩往還佐々並おいでん祭、萩ものしり博士検定、萩城下町マラソン、萩城下の古き雛たち、萩・椿まつり、萩・幕末維新検定、萩往還ワンデーウォーク2015

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成26年度 文化財施設等活用イベント



萩城跡ライトアップ
 【萩城跡(国指定史跡)】
 通年：日没～22:00
 萩城跡指月公園をライトアップするイベント



萩往還まつり「技・明木展」
 【萩往還(史跡)】
 5月3日(祝・土)・4日(祝・日)
 萩往還沿いの明木地区の町並みを活用したイベント(12,000人)



萩・夏みかんまつり
 【萩市平安古地区重要伝統的建造物群保存地区ほか】
 5月17日(土)・18日(日)
 夏みかんの花の香りとともに萩の町並みや夏みかん製品を広くPRするイベント(6,800人)



須佐湾遊覧船
 【須佐湾(名勝及び天然記念物)】
 4月29日(祝・火)～5月6日(休・火)
 7月20日(日)～8月31日(日)
 名勝である須佐湾を広くPRするため運航



萩オープンガーデン
 【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)、旧湯川家屋敷(市指定史跡)、渡辺高蔵旧宅ほか全27施設】
 5月10日(土)～5月18日(日)
 文化財施設や民間住宅のお庭巡りを楽しんでいただくイベント(9,200人)



着物ウィークin萩
 【萩城下町(史跡)ほか】
 10月1日(水)～13日(祝・月)
 和の装いで、江戸時代の趣を残す萩の町並みを楽しんでいただくイベント(9,500人)



萩竹灯路物語
【萩城城下町(史跡)ほか】
10月10日(金)～12日(日)
竹灯籠の灯りで、城下町を照らし夜の町並みの魅力をPRするイベント (4,038人)



秋の萩焼まつり
10月10日(金)～13日(祝・月)
伝統的工芸品である萩焼を広く普及させるためのイベント (17,000人)



萩往還佐々並おいでん祭
【萩市佐々並市重要伝統的建造物群保存地区】
11月16日(日)
佐々並市のまちなみ散策とともに特産品をPRするイベント(2,800人)



萩城下町マラソン
【萩城跡(史跡)、萩城城下町(史跡)ほか】
12月7日(日)
萩まちじゅう博物館を舞台に、全国から4,203人の申込みがあり、3,357人が完走した。



萩城下の古き雛たち
【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)ほか10施設】
2月3日(火)～4月3日(金)
萩市民が大切にしてきた雛人形を市内の文化財施設に飾りまち歩きを楽しんでいただくイベント (43,915人)



萩・椿まつり
【笠山虎ヶ崎ヤブツバキ群生林(天然記念物)】
2月14日(土)～3月29日(日)
椿の花の季節に、日本でも屈指の椿群生林を楽しんでいただくイベント (65,563人)



萩往還ワンデーウォーク2015
【萩往還(史跡)】
3月28日(土)
萩往還を歩き、維新の志士が往来した歴史ある街道を楽しむスポーツイベント (1,281人)

※()は集客数

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	評価対象年度 掲載紙等
著作権保護のため新聞記事は掲載していません。			
【萩の産業革命遺産関連記事】			
日本近代化の価値発信	H26.7.15	山口新聞	
産業遺産国際会議始まる	H26.7.15	朝日新聞、読売新聞	
資産説明萩市が熱	H26.9.30	朝日新聞	
イコモス、萩の5施設調査	H26.9.30	中国新聞	
世界文化遺産登録に向け萩の5件現地調査	H26.9.30	毎日新聞	
「産業革命」を世界遺産に機運盛り上げ萩でシンポ	H26.10.22	中国新聞	
萩で産業遺産シンポ 世界遺産目指し講演	H26.10.23	読売新聞	
【明治維新150年記念事業関連記事】			
150年向け萩市が記念事業実行委	H26.4.15	朝日新聞	
4年後に明治維新「胎動の地」の物語発信	H26.4.15	山口新聞	
明治維新150年記念事業実行委を設置	H26.4.15	毎日新聞	
19日に維新150年記念シンポ	H26.7.15	山口新聞	
萩・明治維新150年記念シンポジウム	H26.7.15	毎日新聞	
吉田松陰ゆかり「楯取素彦伝」萩・前橋が共同出版	H26.6.28	産経新聞	
萩の魅力PR熱く燃ゆ 奇兵隊に扮して市民がパレード	H26.10.20	朝日新聞	
「花燃ゆ、愛される作品に」	H26.8.10	読売新聞	
来年のNHK大河「花燃ゆ」萩の空気吸ってロケ	H26.8.10	毎日新聞	
「花燃ゆ」の世界再現	H27.1.12	山口新聞	
【旧萩藩校明倫館活用関連記事】			
明倫小新校舎で新学期 萩市昭和の様式継承、景観に配慮	H26.4.9	朝日新聞	
廃校をドラマ館に 萩市、会場や駐車場を整備	H26.7.1	毎日新聞	
幕末語る3247品 萩市に寄贈	H26.9.5	朝日新聞	
幕末資料3250点を寄贈	H26.9.5	読売新聞	
【その他計画に関連する記事】			
「萩城下の古き難たち」フィナーレ風流 萩	H26.4.4	朝日新聞	
「毎年楽しみに」買い物客 萩焼まつり始まる	H26.5.2	毎日新聞	
萩往還まつり始まる 古民家の前に出店80店	H26.5.4	毎日新聞	
江戸後期の旧・小池家土蔵 修復完了あす公開	H26.5.17	朝日新聞	
和船で競う 萩	H26.6.2	朝日新聞	
萩ものがたり41、42号出版	H26.6.28	山口新聞	
和服で歩こう 来月上旬着物ウィークin萩	H26.9.29	毎日新聞	
小中学生の作品も 萩焼伝統工芸士会が作品展	H26.10.8	山口新聞	
松陰の誇り家族の絆「花燃ゆ」に併せて、萩で特別展	H26.10.13	朝日新聞	
来れ萩の剣術場 市、旧藩校の「有備館」公開	H26.10.13	日本経済新聞	
萩ものしり博士検定 修士46人 博士に2人	H26.11.26	山口新聞	
楯取素彦の旧宅跡整備	H27.1.8	毎日新聞	
久坂玄瑞の生涯紹介「萩ものがたり」44号出版	H27.1.15	山口新聞	
文化財施設で雛人形展示	H27.2.4	山口新聞	
幕末維新検定合格者を発表	H27.3.6	毎日新聞	
萩城跡の東園井戸など確認	H27.3.10	毎日新聞	
萩ワンデーウォークに1300人	H27.3.29	毎日新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
萩市の5つの構成資産など8県11市23の構成資産からなる「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の、世界文化遺産への登録に向けて、産業遺産国際会議や山口県世界遺産シンポジウムin萩などの官民を挙げた機運醸成の取組が、新聞各社により報道された。その他に、平成30年の明治維新150年に向けた記念事業を推進するための「萩・明治維新150年記念事業実行委員会」が組織されたことと、この実行委員会により進められた記念事業が報道された。また、明倫小学校の新築移転に伴い、旧校舎が立地する旧萩藩校明倫館の活用に関わる報道や、萩が舞台となる平成27年の大河ドラマの報道、このほか計画に記載している各種イベントや市内でロケのあったテレビ番組が全国に配信されることにより、萩の歴史文化や町並み、また、これらを活用した各種取組の周知が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施にあたっての課題(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		各事業の報道を行ってもらうために、各メディアに対する細かな情報提供や萩らしい特色ある事業の実施が重要である。	

■■■取材及び掲載記事等一覧表■■■(平成26年度)

No.	放送(予定)日	報道機関等名	番組名	放送範囲	内容
1	5月2日	広島ホームテレビ	報道番組「Jステーション」	広島県	萩城下町、瀬つきアジ、見蘭牛、萩焼の紹介
2	7月19日	BS朝日	留さんのニッポン焼き物紀行	全国	萩焼、松陰神社、夏みかん丸漬け(光園本店)の紹介
3	6月29日	日本テレビ	ザ!鉄腕!DASH!	全国	萩たまげなすの紹介
4	6月29日	テレビ朝日	相葉マナブ	全国	萩たまげなすの紹介
5	8月11日	テレビ朝日	有吉ゼミ	全国	萩城下町、空き家、ケンサキイカ漁師の紹介
6	7月20日	テレビ東京	ドラGO!	全国	見蘭牛(ミドリヤファーム)、明神池、マリーナ萩
7	7月21日	TVQ九州放送	キラリ九州	九州	萩城下町の紹介
8	9月5日	BSTBS	THE 歴史列伝	全国	松陰神社、藩校明倫館、松陰誕生地の紹介
9	8月3日	読売テレビ	クチコミ新発見!旅ぶら	全国	萩シーマートほかの紹介
10	7月21日	RCC中国放送	「夏旅!知ってるつもりの中四国むかし伝説」	中四国	萩八景遊覧船の紹介
11	8月30日	BSJAPAN	NIKKEIプラス1を見てみよう	全国	萩焼の紹介
12	10月20日	NHK BSプレミアム	にっぽん縦断こころ旅	全国	萩の町並みを俳優が自転車に乗って旅をする
13	9月8日	BSTBS	謎解き!江戸のススメ	全国	吉田松陰が取り上げられる
14	10月20日	NHK BSプレミアム	にっぽん縦断こころ旅	全国	須佐地域を俳優が自転車に乗って旅をする
15	9月10日	おおすみ半島コミュニティFM	おおすみ!おはようラジオ!	鹿児島	萩市内の観光情報
16	10月18日	テレビ大阪	おとな旅 あるき旅	関西	萩城跡、城下町、萩八景遊覧船の紹介
17	10月8日	NHK BSプレミアム	ヒストリア「奇兵隊デビュー」	全国	奇兵隊の取材協力
18	10月20日	NHK BSプレミアム	にっぽん縦断こころ旅	全国	萩の町並みを俳優が自転車に乗って旅をする
19	11月5日	BS11	日本ほのぼの散歩	全国	萩城跡、城下町、菊ヶ浜、松陰神社、藍場川、鍵曲の紹介
20	11月6日	MBCラジオ	モーニング・スマイル「明石屋 行ってみ大使・食べ大使」	鹿児島	萩時代まつりの紹介
21	11月20日	MBCラジオ	モーニング・スマイル「明石屋 行ってみ大使・食べ大使」	鹿児島	萩博物館「兄松陰と妹文」の紹介
22	11月29日	NHK BSプレミアム	さいはっけん!古都物語	全国	鍵曲、城下町、東光寺の紹介
23	12月14日	CS時代劇専門チャンネル	歴史を訪ねて 日本の城	全国	萩城跡の情報、素材提供
24	12月12日	NHK総合	プライムS	中国	大河ドラマ花燃ゆ特集
25	1月4日~	NHK総合	花燃ゆ紀行	全国	大河ドラマ花燃ゆ初回~6話までのゆかりの地の紹介
26	1月6日	NHK Eテレ	「知恵泉~吉田松陰~」	全国	吉田松陰の人材育成にスポットを当てる
27	1月3日	NHK総合	「花燃ゆ」放送直前スペシャル	全国	大河ドラマ花燃ゆ直前のスペシャル
28	1月8日	ZIP-FM	MORNING CHARG	東海	花燃ゆ大河ドラマ館の紹介
29	1月8日	NHK BSプレミアム	英雄たちの選択	全国	吉田松陰の特集
30	1月8日	NHK総合	あさいち	全国	夏みかん、鍵曲、松陰神社、堀内の紹介
31	2月6日	NHK総合	情報維新やまぐち	県内	椿まつり・萩城下の古き雑たちの紹介
32	2月9日	NHK総合	ひるブラ	全国	萩城下町での生中継
33	2月23日~24日	NHK総合	あさいち	全国	ピカピカJAPAN 生中継 道の駅萩往還・越ヶ浜漁協
34	3月29日~	NHK総合	花燃ゆ紀行	全国	13話以降の大河ドラマゆかりの地紹介。松陰神社、入江九一、野村靖誕生地、長寿寺等

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成26年度

項目

萩・明治維新150年記念事業

計画に記載している内容

萩が日本の歴史にかかわった最大の出来事は、明治維新であり、吉田松陰やその門下生である高杉晋作、木戸孝允をはじめとする幕末維新の志士、伊藤博文、山縣有朋ら近代国家確立に尽力したいわゆる長州閥と呼ばれる政治家、藤田伝三郎、渡辺蔭蔵ら実業家など、その前後の時代に多くの逸材を輩出したことである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成30年(2018)に「明治維新150年」の節目の年を迎えるにあたり、近代日本の扉を開いた先達の歴史をひもとき、「明治維新胎動の地」として、先達の織りなす「幕末・維新の萩物語」を語り広め、次の世代に語り継ぐため、記念事業を開催。
事業期間:平成26年度～平成30年度

事業主体:萩・明治維新150年記念事業実行委員会(行政、経済団体、NPOなど12団体で組織 事務局:企画政策課)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

平成30年の明治維新150年まで、萩市民の機運を高めるための記念事業を毎年開催予定。

状況を示す写真や資料等

テーマ

◆ 江戸時代の地図が今なお使える「萩まちじゅう博物館」を楽しもう!

◆ 先達の織りなす「幕末・維新の萩物語」を語り継ごう!

◆ 19世紀末の世界史の奇跡と言われる日本近代化の原点となった「萩」を学ぼう!

ロゴマーク



150th ANNIVERSARY

萩・明治維新150年記念シンポジウム
2014 禁門の変・長州戦争・晋作拳兵
から150年 記念講演会
パネルディスカッション
～追いつめられた萩藩・苦難の時代～

平成26年 7月19日(土) 午後1時30分～4時
萩市民館 大ホール
参加無料

1 開会
2 基調講演
3 パネルディスカッション
4 閉会

萩・明治維新150年記念シンポジウム
お問い合わせ 萩市企画政策課 (TEL 25・3569)

萩・明治維新150年記念シンポジウム

主要事業

- 3月～11月
萩・明治維新を学ぶ「萩の語り部歴史講座」
- 4月～ 萩博物館特別展、テーマ展、特設展示
池田屋事変150年テーマ展「吉田稔麿の生涯」
明治維新150年プレ展示「山田顕義と近代日本」
明治維新150年プレ展示「描かれた幕末の萩藩～攘夷から倒幕へ、萩藩苦難の道～」
禁門の変150年テーマ展「久坂玄瑞の生涯」
特設展示「兄松陰と妹文～杉家の家族愛～」
- 6月
「楢取素彦伝」出版
- 7月
・萩・明治維新150年記念シンポジウム
歴史パフォーマンス「草莽崛起」、記念講演、パネルディスカッション
プロジェクト長州おはぎ150年「おはぎ茶屋」出店
・久坂玄瑞没後150年慰霊祭
・禁門の変、池田屋事件殉難150年慰霊祭、記念講演
- 8月
・大河ドラマ「花燃ゆ」のヒロイン文を紹介する小冊子を刊行
・萩の観光おもてなし研修会(大河ドラマ、世界遺産関連)
- 10月
・大河ドラマ「花燃ゆ」第2回市民講座
- 11月
・萩ものがたり「楢取素彦」刊行
- 12月
・萩ものがたり「久坂玄瑞」刊行
・下関拳兵150年イベント(下関市と共同のイベント)
- 1月
・文と花燃ゆ 大河ドラマ館オープン
・久坂玄瑞進撃像除幕
- 2月
・第2回萩・幕末維新検定



評価軸⑥-2
その他

評価対象年度 平成26年度

項目

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」山口県世界遺産シンポジウムin萩

計画に記載している内容 萩まちじゅう博物館の中核施設である萩博物館や地域博物館を管理運営するとともに文化財の再発見、その登録や管理、情報発信、活用を行い、文化財を活用した催し物、講演会、シンポジウム等を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」について、萩市や民間団体で構成される産業遺産国民会議と連携しながら、県民の機運醸成を図ることによって、平成27年度の世界文化遺産登録を実現するためのシンポジウムを開催。

開催日:平成26年10月21日(火)

主催:山口県世界遺産登録推進実行委員会

参加者数:450人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

- 「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」山口県世界遺産シンポジウムin萩概要
- ・基調講演会:「ユネスコ世界遺産条約の現状と課題」講師:木曾 功(内閣官房参与)
- ・パネルディスカッション:「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界文化遺産登録を目指して
コーディネーター:加藤 康子(都市経済評論家、協議会コーディネーター)
パネリスト:安倍昭恵(内閣総理大臣夫人)、八木重二郎(産業遺産国民会議理事長)、木曾功(内閣官房参与)、渡辺一雄(梅光学院大学文学部学部長)、村岡 嗣政(山口県知事)、野村 興兒(萩市長)

プログラム

- 18:00 開会
- 18:15 基調講演
演題:ユネスコ世界遺産条約の現状と課題
講師:木曾 功氏(内閣官房参与、前ユネスコ全権特命大使)
- 18:55 パネルディスカッション
テーマ:「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界文化遺産登録を目指して
コーディネーター 加藤 康子氏(都市経済評論家、登録推進協議会コーディネーター)
パネリスト 安倍 昭恵氏(内閣総理大臣夫人)
八木重二郎氏(一般財団法人産業遺産国民会議理事長)
木曾 功氏(内閣官房参与)
渡辺 一雄氏(梅光学院大学文学部学部長)
野村 興兒氏(萩市長)
村岡 嗣政氏(山口県知事)
- 20:00 閉会

平成27年 世界遺産登録へ

平成26年10月21日(火) 18:00~20:00
萩市民館 (萩市大学江向495-4)

問い合わせ先 山口県世界遺産登録推進実行委員会事務局
(山口県教育庁社会教育・文化財課内) TEL 083-933-4666



「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」
山口県世界遺産シンポジウムin萩 チラシ

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」
山口県世界遺産シンポジウムin萩

- 参加無料
- 定員500名程度
- 事前申込不要



パネルディスカッション

萩反射炉 (萩市)

西洋式の鉄製大砲製造を目指した萩(長門)藩が、1856年に建設した反射炉の遺跡。萩(長門)藩から佐賀藩に派遣された大工棟梁が持ち帰った反射炉の見取図を基に、試作的に建設された。

恵美須ヶ鼻造船所跡 (萩市)

幕府の要請や木戸孝允の意見により、萩(長門)藩が設けた造船所の遺跡。藩は、伊豆の戸田村や長崎海軍伝習所に船大工ら技術者を派遣し、西洋技術の情報を得て伝統的な和船の建造技術を使って、2隻の西洋式帆船を建造した。

大板山たたら製鉄遺跡 (萩市)

日本の伝統的な製鉄方法であるたたら製鉄の遺跡。萩(長門)藩が西洋式帆船「丙辰丸」を建造する際に用いた船釘などの原料鉄を供給しており、幕末の西洋式帆船建造に当時の日本の在来技術が利用されたことを示している。

萩城下町 (萩市)

毛利輝元が建設した萩(長門)藩の政治・行政の中心であった萩城の跡(城跡)、藩の産業化や技術獲得などの政策を遂行した、身分が高い武士の屋敷等があった旧上級武家地。当時の経済的な様相を現在に伝えている旧町人地の3つの区域によって構成される。

松下村塾 (萩市)

萩(長門)藩の兵学者吉田松陰が主宰した私塾。吉田松陰は実家の杉家に謹慎していた1856年から門人への指導を開始し、1857年に現存する塾舎に移った。1858年に閉鎖されるまでの約2年10ヶ月の間に約90名の門人に指導を行った。

萩市の構成資産

評価対象年度	平成26年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 萩市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成27年3月23日	
(コメントの概要)	
協議会議事	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 萩市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について ⇒各担当者より評価シートについての説明 (2) 萩市歴史的風致維持向上計画の変更について ⇒担当者から計画の軽微な変更内容について説明 (3) その他 委員改選に伴う、委嘱状の交付 	
コメント等	
<ul style="list-style-type: none"> ・佐々並市の伝建地区には、59件もの貴重な建造物があるが、この建造物の内部にある家財や農機具等についても何らかの手当が必要ではないか。 ・A市では、市街地開発が進み、貴重な建造物が取り壊されたため、建造物がなくなったあとの土地(平地)のみを史跡に指定したという事例がある。萩市においては、このようなことが起こらないように、貴重な建造物等についてよく吟味し、修復を加えながら後世に残していくべきと考える。 	
(今後の対応)	
<ul style="list-style-type: none"> ・佐々並市伝建地区については、平成27・28年度に整備を実施する旧小林家住宅において佐々並地区のおたから(家財や農機具など地域の文化遺産)を展示し、地域住民自らが解説できるような整備を検討している。この旧宅を萩まちじゅう博物館のサテライト施設として位置づけ、地域の貴重なおたからを紹介していきたい。 ・現在、萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業により、平成25年度から3年間にわたり、市内全域に存在する貴重なおたからの調査と記録を行い、萩市のおたからとして認定する取組を進めている。今後も継続的に貴重なおたからの調査、記録、活用と併せ、後世に繋げるべく、必要な修復等に努めていきたい。 	